

まちの応援マガジン いなわしる

広報 猪苗代

Jan.2010

1

No.591

ふる里を再発見

特集

こ

あ

と

け

よ

お

ろ

め

11月に完成した「いなわしるふる里かるた」
町内各地の文化、自然、歴史、史跡や名所などを
紹介しています
子どもたちは学校で、大人の方は学びいなど、
ぜひ手に取って見てください
もっとこの町が好きになりますよ(関連4ページ)



猪苗代町長
津金 要雄

明けましておめでとうございます。

新しい年の門出に当たり、日ごろ町政にお寄せいただきありがとうございます。ご協力に對しまして、ここに深く感謝申し上げます。

日本経済は、景気の後退により企業の収益悪化が雇用の悪化を招くなど悪循環に陥り、深刻な状態となっています。地域経済に与える影響は大きく、商工・観光・農林業も厳しい局面にさらされています。

地方においてもこのように厳しい情勢が続く中で、本町は「豊かな自然とすべての命を大切にする活気あるまちづくり」を基本理念とした「第六次猪苗代町振興計画」のもとに町政を推進しています。

昨年を振り返りますと、3月にフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会の成功、体験交流館の竣工、10月には町立猪苗代病院の落成など大規模な事業が推進された一方、大型台風の影響や新型インフルエンザなど突発的事態への対応に追われました。

また、環境省の発表する「全国湖沼水質ランキング」においては、19年度とランク対象外でありましたが、今年も全国2位に入ることができました。これも、県民や町民の皆さん、そして各関係機関や関係団体が日本一を目指し、水質保全運動に取り組んだ成果が現れたものと考えているところです。

これからの地方自治体は、国や県とのかわりもありますが、上部組織に変化があっても微動だにしない自主・自律の主体性をもつことが何よりも重要で、そのためには町民の皆さんの参加と協働が不可欠となります。「人が、自然が、歴史と文化が、そして未来が輝く猪苗代」を目指して、町民の皆さんが本町に住んで良かったと実感できるよう、農業と観光、福祉と教育のまちづくりを積極的に推進してまいりますので、今後ますますのご支援ご協力をお願い申し上げます。

町民の皆さんにとりまして幸多い年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

年頭のごあいさつ



猪苗代町議会議長
関澤 和人

新年明けましておめでとうございます。

町議会を代表いたしまして新年のごあいさつを申し上げます。町民の皆さんには、ご家族おそろいで輝かしい新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

国政においては、衆議院議員総選挙の結果、54年間続いた自民党政権から民主党への歴史的政権交代がありました。新政権においては、選挙公約に掲げた、国中心の政治から地方の自主的政治として「地域主権」が議論されています。

わが国においては、年末の「円高」による国内景気の先行き不透明感からの株価下落などにより、一向に景気回復の兆しが見えてきておりません。大学生などの新卒者就職内定率が、「就職氷河期」の時よりも悪化し、派遣禁止法による中小企業経営者の経営悪化懸念など、さまざまな要因に基づく雇用不安等により、消費の低迷とデフレ経済は今後も続くことが予想されます。政府は、年末に7兆2千億円規模の緊急経済対策を盛り込んだ第2次補正予算を閣議決定し、1月の通常国会に提出することとしています。22年度予算の圧縮策として「行政刷新会議」による事業仕分け作業が実施され、地方にとって重要な地方交付税交付金なども見直しの対象となりました。

本町においても、定住人口の減少や土地価格の下落などにより町税増収が見込めない中、高齢化の加速による扶助費等の増加など、取り組む課題は多岐・多様にわたっています。町の将来像である「人が、自然が、歴史と文化が、そして未来が輝く猪苗代」に向かって、議会と行政が力を合わせ、安心して暮らせる町づくりを進めていきます。議員一人一人が研さんを重ね、資質の向上に懸命に努めますので、本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町民の皆さんの限りない幸せと、穏やかな毎日でありますことを念じまして、新年のごあいさついたします。



猪苗代町教育長
土屋 重憲

新年明けましておめでとうございます。皆さんにおかれましてはお揃いで、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返ると、3月には大成功に終わったフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会、体験交流館(学びいな)の竣工、新型インフルエンザの流行、大型台風の影響、政権交代、町立猪苗代病院の落成など全国的に見ても、わが町にとりましても極めて密度の濃い年であったように思います。

世の中全体の傾向としては、回復しづらい複雑な不況が根底にあり、社会全体を重苦しい空気が覆っている、そんな感じが否めません。

そんな中、この逼塞感を吹き飛ばすかのように、ゴルフ界の石川遼君に代表されるような、十代から二十代前半の若い人たちの目覚ましい活躍が各界で見られました。

本町でも、スキーの鈴木猛史君や井上賢之介君の活躍などは記憶に残るところです。これらに続く町内の児童、生徒諸君もこの複雑な時代の子であるのにもかかわらず、高学力を維持している学校、さまざまな分野で県、東北や全国レベルで表彰を受ける学校も出るなど、よく頑張っていました。いうまでもなく家庭、地域、学校が丸となって取り組んだ成果だと思います。本町の未来を開く子どもたちの教育、人材の育成は常に最重要課題であって、猪苗代町の安定、発展の力基は教育の営みの中に存在する、と言っても過言ではありません。

教育委員会といたしましては、昨年9月の子育て環境の整備に関する町教育施設適正配置等推進委員会の提言書や皆さんからのさまざまなご意見などを参考にさせて頂きながら、教育環境の整備を始め、種々施策を推進してまいります。変わらぬご指導、ご支援のほどをお願い申し上げます。

ふる里を再発見

思いが加わる

昨年の3月に開催された
フリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会
大会の開催に向け、この町にある文化、歴史、自然、
伝統、史跡、名所、偉人などを紹介し、
猪苗代を世界にアピールしよう
町民のおもてなしの心を示そう
そう考え、動き出した人たちがいた

構想から約1年半、それぞれの思いが形になった時
思いがけない発見もあった
11月に完成した「いなわしろふる里かるた」が
この町に残したものを検証する



かるたで町をアピール

町教育委員会が主催する高齢者向け講座「生き粋セミナー」は、町内の各老人クラブから推薦を受けた人たちが参加する講座。

次の事業ではどんなことに取り組みようかと、当時の公民館職員や社会教育指導員たちが集まった会議の席上で、緑小学校のかるたづくりが話題になった。

ちょうどフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会を翌年に控え、町全体で大会を盛り上げていくとする機運が高まっていた時。かるたを作って、町の文化、歴史、自然、伝統、史跡、名所、偉人などを紹介することができたら。

第1回目の生き粋セミナーで、参加者に趣旨を説明したところ、それは素晴らしい、世界選手権のために一役買おうと多くの賛同を得ることができた。

かるたの作製に当たり、誰を講師



かるた(加留多、歌留多、骨牌など複数の当て字がある)は、絵札を使う競技の一種。ポルトガル語の「carta」を語源とし、日本に伝わった当初は主にトランプを指していた。現在、単に「かるた」と称する場合はいろはかるたを指すことが多い。百人一首一別名「歌がるた」。花札一別名「花がるた」。

かるた作りがスタート

2回目のセミナーからは、鈴木さんが講師になり、具体的な取り組みが始まった。

読み札の文言作りは、五七五の俳句調を基本とすることが決定。参加者には、自分の住む地域の紹介したものについて、文言を作成しても

らうことにした。
慣れない俳句調に悪戦苦闘しながら、多くの参加者たちが作り上げた文言。そこには地域への愛情、思いや誇りが込められていた。

読み札がある程度完成すると、今度は絵札の作成が始まった。

絵札のデッサンは、参加者の渡辺ミエさんが担当することになった。趣味で絵手紙を描いていた渡辺さんは、実際にその場所を訪れたり、イメージを膨らませたりしながら、あたたかいタッチでデッサンを完成させた。

渡辺さんが色まで全部仕上げるのでは負担が大きすぎる。そう思った鈴木さんは、以前訪れた猪苗代高校の文化祭で見た、美術部員の展示を思い出した。

猪苗代高校に連絡し、美術部員の協力を依頼すると、美術部顧問の関本和志(わかし)教諭と部員たちが、地域の役に立てるならと快く協力してくれることになった。

部員たちは、交代しながら色付けに参加し、すべての作品にきれいな色を付けてくれた。

ふる里かるた製品化へ

こうして出来上がった原画は20年10月、公民館まつりで展示され、多くの町民の目に触れることになった。

「あたたかい感じがいいね」「これは製品にならないの」と評判は上々だった。
世界選手権猪苗代大会直前の1月末、小松山生涯学習課長、鈴木さんとセミナー担当者の堀社会教育指導員が完成報告のため町役場を訪れた。津金町長に完成の報告をすると「素晴らしいものができた。ぜひ製品にしたいのではありませんか」との提案があり、土屋教育長も「地域を知るといふ教育的な意義もある。ぜひ学校の子どもたちにも見せてあげたい」と賛成。

世界選手権猪苗代大会の会場に展示されることはなかったが、製品化に向けて準備が進められることになった。
製品化に向け、かるたの内容の見直しが始まった。生き粋セミナーでは、かるたに採用された史跡や名所の現地研修などを実施し、参加者の理解を深めた。

また、学びいなどで古典セミナーの講師を務める鈴木邦子先生に文言の添削を、以前山潟小学校に校長として勤務していた馬場泰先生に絵の添削を依頼し、内容を見ていただいた。

生き粋セミナーの題材という枠を超え、いろいろな人の思いが加わった見事な作品は11月、ついに「いなわしろふる里かるた」の製品版として完成した。

INTERVIEW

皆さんの俳句は芸術作品ではありません
あたたかさにあふれた地域の人たちの
心を伝えるものなのです。



文言(俳句)の添削や生き粋セミナーでかるたの読み方、遊び方の指導を担当

鈴木 邦子先生

もともと町内の閑脇出身のわたしは、教師として猪苗代高等学校に12年間お世話になりました。
そんな縁があって、退職後、公民館の古典セミナーの講師を依頼され、現在までお付き合いさせて頂いています。
短歌や俳句は趣味程度で、皆さんにお見せするようなものではありませんが、少しでも老人クラブの皆さんのお力になればと添削の依頼をお受けしました。
添削に当たっては、最初に作った人の心を、思いを壊さないようにと心がけ、五七五調の基本に近

づける程度にしました。
皆さんの俳句は芸術作品ではありません。あたたかさにあふれた地域の人たちの心を伝えるものなので、一言一句に込められたあたたかさを、できるだけそのままの形で残したかったです。
今回、このような素晴らしいものを作ることに協力し、一助となれたことを、本当にうれしく思います。
まだこのかるたを見たことのない町民の皆さんにも、楽しんでほしいと思います。

Interview



かるたのデッサン(下絵)を担当

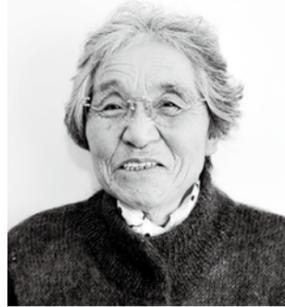
渡辺 ミエ さん (白津)

デッサンの話をいただいた時、本当にわたしでいいのかなと思いました。わたしは趣味で絵手紙を作っていた程度でしたから。

皆さんと一緒にわたしも頑張ろうと、ただただ夢中で描きました。皆さんの協力があったことだと思っています。

これからもまだまだ猪苗代のことを知りたいです。死ぬまで勉強ですね(笑)。

Interview



俳句を担当し、2作品が採用

横沢 都子 さん (釜井)

若いころ東京に行っていたわたしには、猪苗代のことでも知らないことがたくさんありました。この講座に参加したことで、町内のいろいろな場所や歴史について勉強することができて、本当に良かったと思います。

採用された俳句

- ・見祢の大石 噴火の大きさ 物語る
- ・結び仲良 いついつまでも おシンの嫁入り

思いを留める

とど

簡単に俳句は浮かばない、絵だって簡単には描けない色を付けることもそうだし、みんなが頑張ってる、かるたの中に思いを詰め込んだそれをやり遂げた時、今まで見えていなかったものが見えてきた。きつとそれが大切なもの。かるたづくりに携わった皆さんの話を聞いた。



完成した「いなわしろふる里かるた」を取り、感想を話し合う栗原さんと小林さん

かるたの作製に参加してくれた皆さんは、何を感じ、どんな思いでかるた作りに取り組んだのか。感想や苦労話などを聞きました。

猪苗代高等学校美術部顧問 関本和志教諭

美術部員みんなが交代で色付けに参加してくれましたが、中心メンバーとして頑張ってくれたのが栗原美由紀さん、小林文さんと田中花奈さんです。
かるたはきれいに色が出ていて、美術部員として恥ずかしくない仕上がりになって良かったです。



水彩画で淡いタッチの絵が得意という栗原さん

猪苗代高等学校美術部 栗原 美由紀さん(3年)

かるたの原画を見た時にあたたかい感じの絵だと思いました。もともとわたし自身がそういうタッチの絵が得意なので、原画のイメージどおり、あたたかい感じに塗るようにしました。

観光科のわたしは、授業で町の名所や史跡などを見学していたので、身近に感じる風景もあって楽しく塗れました。こうして完成品を見ると、本当にできたんだなという達成感があります。

町の自然、歴史や名所などにちなんで、お年寄りが作った俳句。その俳句と絵が一緒になっているこのかるたは、いろいろな人が力を合わせ、団結して作った作品です。そう考えると、気持ちまであたたかくなります。
猪苗代に住んでいる人にもまだまだ知られていない場所がたくさん

んあります。このかるたでそういうところを知ってもらえたらうれしいです。

猪苗代高等学校美術部 小林 文さん(2年)

「普段わたしが描いているアクリル画や油絵とは違うものですが、塗り絵をしているようでやりやすかったです。猪苗代にある身近なものを題材にしているので、楽しくできました。
色を塗っているときは、もっと薄かったのですが、こんなにきれいに色が出ていけるとは思いませんでした。

自分たちが色を付けたものが、お年寄りが努力して作った俳句と一緒に製品になり、お手伝いができたんだと思うとうれしいです。立派な完成品ができたのを見て、驚きと喜びを感じています。



アクリル画や油絵など重厚なタッチが得意の小林さん



かるたを取る人の手と手が重なるように
絵と俳句が重なって、かるたが生まれた
このかるたには、いろいろな人の思いが重なっている

特集 ふる里を再発見 終わり

町民と町と一緒に何かをしようと
考え、動き出す。協働のまちづく
りの答えが見えた。

きっかけは与えられたものだった
かもしれない。しかし、この取り組
みを成功させようと自ら考え、動き、
一生懸命に取り組んで、かるたを完
成させたのは紛れもなく町民の皆さ
んの力。

町民と町と一緒に何かをしようと
考え、動き出す。協働のまちづく
りの答えが見えた。

今回の町の魅力について勉強し、
再発見した皆さんは、一人一人が立
派な観光ガイド。自信と誇りを持つ
て、いろいろな機会に町の魅力をPR
してほしい。

きっかけは与えられたものだった
かもしれない。しかし、この取り組
みを成功させようと自ら考え、動き、
一生懸命に取り組んで、かるたを完
成させたのは紛れもなく町民の皆さ
んの力。

町民と町と一緒に何かをしようと
考え、動き出す。協働のまちづく
りの答えが見えた。

取材を終えて

多くの人が協力して完成させた
「いなわしろふる里かるた」。

参加した皆さんが地域を見直し、
再発見した文化、歴史、自然、伝統、
史跡、名所、偉人などは町の財産で
あり、それらを網羅したかるたもま
た町の財産になった。

この活動に取り組む中で、皆さん
が発見したのは、それだけではない。
自分の心の中にあつた、地域への愛
着や古里への誇りという気持ちも再
発見したのではないだろうか。

自分の住む町をよく知ることは、
町に愛着を持つこと、誇りを持つこ
とにつながる。町に誇りが持てれば、
それを誰かに伝えたいくなる。

今回の町の魅力について勉強し、
再発見した皆さんは、一人一人が立
派な観光ガイド。自信と誇りを持つ
て、いろいろな機会に町の魅力をPR
してほしい。

きっかけは与えられたものだった
かもしれない。しかし、この取り組
みを成功させようと自ら考え、動き、
一生懸命に取り組んで、かるたを完
成させたのは紛れもなく町民の皆さ
んの力。

町民と町と一緒に何かをしようと
考え、動き出す。協働のまちづく
りの答えが見えた。



生き粹セミナー最終回を受講する参加者の皆さん。
これだけ多くの人が町について学び、町の魅力を
再発見した。

多くの思い

多くの人の思いが重なり、
かるた(加留多)が出来上がった
かるたを作ることで、町の魅力を再発見した
発見した魅力は、誰かに伝えたいくなる
多くの人に伝えてほしい
あなたが発見した、この町の素晴らしさを。

発端は生き粹セミナーの題材で
あつた訳ですが、そこにかかわつた
町民の皆さんが「世界選手権猪苗代
大会に向けて、世界に猪苗代をPR
したい」と一生懸命に地域おこしに
取り組んでくれました。
その思いこそ、これからのまちづ
くりを進めていく上で重要なのでは
ないかと思ひます。
老人クラブの皆さんは、俳句が採
用された人もされなかつた人も、同
じように頑張つて取り組んでくれま
した。
色付けをしてくれた猪苗代高等学
校美術部の皆さんも、俳句に取り組
んでいる老人クラブの皆さんのた
め、また、地域のためにと創作の時

皆さんの思いが結集した「いなわ
しろふる里かるた」は、文化、歴史、
自然、伝統、史跡、名所、偉人など、
町の素晴らしさを存分に引き出し
てくれた作品です。
かるたの中には、町民の皆さんで
も知らなかつたことがあるかもしれ
ません。これを機会に、わたしたち
の住む町について、もっと良く知っ
てもらふことができれば幸いです。
学校の子どもたちにも、このかる
たを使って町のことを良く知っても
らい、町をもっともっと好きになつ
てほしいと思ひます。
かるたは学校などに配布したほか、
ふるさと歴史館、学びいなの展示
しています。ぜひ一度手に取ってご
覧ください。

INTERVIEW



猪苗代町役場 生涯学習課長

小桧山 勲

今回の「いなわしろふる里かるた」
の作製に当たり、本当に多くの皆さ
んにご協力をいただきました。この
場を借りてお礼を申し上げます。

間を割いて頑張つてくれました。
かるたに出てくる名所、旧跡を巡
り、理解を深め、もっとこの町のこ
とを知ってほしい。鈴木清孝さんは、
あふれんばかりの情熱で講師を務め
てくれました。
添削指導に当たつた鈴木邦子先
生、馬場泰先生も、同じ思いで頑張つ
てくれたのではないかと思います。
このかるたの作製に参加してくれ
た皆さんは、猪苗代の魅力を再発見
し、もっとこの町が好きになったの
ではないでしょうか。今後は、一人
一人がそれを生かし、町の魅力を町
内外にPRしてほしいと思ひます。

受賞おめでとうございます

自治功労者表彰式・合同表彰式感謝状伝達式

二十一年度町自治功労者表彰式は十一月三日、町役場で開かれ、津金要雄町長が自治、教育、産業、民生の分野で公共の福祉や町政に功労のあった十一人を表彰、また、寄付などをした善行者二人に感謝、その功績をたたえました。

が「受賞の感激を胸に刻み、これからも地域社会に貢献していきたい」と謝辞を述べました。

表彰された皆さんは次のとおり(敬称略)。

◆功労者表彰

午前十時から開かれた表彰式には受賞者をはじめ、町議会、関係機関・団体の来賓など約四十人が出席しました。

津金町長が「これからも町政発展のため指導協力をお願いします」とあいさつをした後、功労者十一人と善行者二人に、それぞれ表彰状、感謝状が贈られました。

▽教育委員会委員長長功績
▽安部慎一▽有害鳥獣駆除隊員功績▽土屋七郎▽民生児童委員功績▽代田悦子、中村賢三、野沢光子▽情報公開審査会委員功績▽佐藤隆夫、阿部隆郎▽環境美化推進員功績
▽本間正、田中徳英、磯川猪四郎▽食生活改善推進員功績▽鈴木敬子

◆善行者表彰

表彰に続いて、関沢和人町議会議長が祝辞を寄せました。

受賞者を代表して安部慎一さん(50)▽本町

▽美術作品寄贈功績▽相田幸男▽文化センター建設・社会福祉事業への継続寄付功績▽佐藤マツ

津金町長、関沢議長を中心に受賞された皆さん



二十一年度合同表彰式感謝状伝達式は十一月十四日、町体験交流館学びいで開かれ、各種コンクルの受賞者などに賞状、感謝状が贈られました。

表彰された皆さんは次のとおり(敬称略)。

二十一年度「健全な社会環境づくり運動」
標語コンテスト入選者

【小学生の部】

最優秀賞 宇南山直紀(翁島)

優秀賞 兼子優衣(千里)

優秀賞 長沼龍馬(猪苗代)

優秀賞 鈴木麻美(翁島)

佳作 長谷川莉瑚(猪苗代)

橋本瑛(猪苗代)

川井彩乃(翁島)

【中学生の部】

最優秀賞 遠藤美沙希(猪苗代)

優秀賞 渡部光亮 福田光希 渋谷のぞみ(すべて猪苗代)

佳作 浅川真有 田沢駿

中村豪(すべて猪苗代)

【高校生の部】

最優秀賞 渡部美桜(猪苗代)

優秀賞 伊藤舞 渡辺晴香 長田なつみ(すべて猪苗代)

佳作 佐藤真美 一ノ瀬翼 渡部歩(すべて猪苗代)

【一般の部】

最優秀賞 山内喜世子(神明町)

優秀賞 伊藤ツヤ子(神明町)

山内隆幸(神明町)

篠原ミツ(神明町)

佳作 古川芳昭(白木城)

山田英作(名家)

佐々木裕美子(三城湯)

二十一年度「ごみ減量化・リサイクル推進ポスター」コンクール入選者

最優秀賞 安部駿人(猪苗代)

優秀賞 遠藤真桜(吾妻)

小林将(猪苗代)

半沢勝人(長瀬)

佳作 伊藤翼(猪苗代)

佐藤亜樹(翁島)

大槻佳乃子(千里)

大坂龍裕(長瀬)

長谷川想(猪苗代)

安部沙耶(緑)

鈴木麻真(吾妻)

渡部真綺(猪苗代)

喜多見理加(千里)

環境美化推進員感謝状受賞者

- 猪苗代地区 高田喜志男 宇南山隆
- 矢森章雄 鈴木美喜雄
- 小坂橋衛 鈴木久信
- 角田栄次
- 翁島地区 山内一郎 古川裕一
- 小野木照夫 渡部茂
- 鈴木春夫
- 千里地区 真島由一 鈴木公明
- 月輪地区 佐藤一郎 柴田肇
- 渡部勝 小松山常雄
- 長瀬地区 松本伸 本多和男
- 齋藤力衛
- 吾妻地区 遠藤正孝 小椋重政
- 小木良司郎 五十嵐郡衛
- 福島県共同募金会長 感謝状受賞者
- 【個人の部】
- 一般募金 戸田忠義 田中稔務 野口森雄 佐藤弘(故人) 鈴木正夫 鈴木明
- 歳末たすけあい募金 渡部利 半沢万平(故人) 渡部新司 遠藤修郎 大友健市

【団体の部】

- 一般募金 有限会社五十嵐自動車整備工場 猪苗代町老人クラブ連合会
- 歳末たすけあい募金 西円寺佛教壮年会・婦人会
- あいづ農業協同組合青年連盟猪苗代地区
- あいづ農業協同組合女性部 連盟猪苗代支部
- 福島県赤十字血液センター所長感謝状受賞者
- 有限会社吾妻食品 医療法人ケアテル 社会福祉法人蘭山会特別養護老人ホーム咲楽の里 会機工業株式会社

統計功労者表彰

- 福島県知事表彰 渡部宗揮(島田)
- 福島県統計協会名誉会長表彰 小松山栄喜(称次) 土屋俊雄(川桁)



路線バスに関するアンケートの結果をお知らせします

急速に進む高齢化社会に対応するため、既存路線への要望や公共交通空白地域の人の要望などの実態を調査した結果を公表します。

アンケート集計・分析結果

アンケート用紙配布数 1,000 世帯 回答数 480 世帯
回収率 48.0%

内 有効回答数 446 世帯 有効回答率 92.9%
無効回答数 34 世帯 無効回答率 7.1%

内 500 世帯→路線バス沿線地域
有効回答数 235 世帯 有効回答率 47.0%

内 500 世帯→公共交通空白地域
有効回答数 211 世帯 有効回答率 42.2%

①路線バスの利用者は、回答者全体の26.5%と約4分の1程度。吾妻地区の人、60歳以上の人、女性の利用が多い。

利用しない人の主な理由としては、「自分で車を運転する」「家族が自動車で送迎」「利用する機会が無い」という路線バスの利便性に直接起因しない理由で61%を占めている。

これは、経済成長とともに進んだ急速な自動車の普及や道路等の社会資本の整備が進んだことにより、公共交通を必要としないライフスタイルが確立されたことや、小規模集落が広大な町土に点在している本町の地域性などにより、自動車に依存しなければならない環境にあることなどが考えられる。

路線バスの利便性等に直接起因する理由で利用しない人のうち、月輪地区、千里地区および翁島地区の人は、路線バスが走っていないことや路線バスがあってもバス停留所が無いことなどで、ほとんどの人が利用していない状況である。

②路線バスの利用者の行き先と目的は、「町内」に「病院や買物」

特に、60歳以上の高齢者、吾妻地区の人および女性の利用割合が非常に高く、この人たちにとって路線バスは重要な公共交通であることが伺える。

③路線バスの利用者の利用時間帯は「行き」は午前、「帰り」は午後

「行き」の利用時間帯は、「午前7時～9時前」が半数を占め、「午前9時～正午」までを合わせると、85%の人が午前中に利用している。「帰り」は午後3時～6時が多く、正午～午後3時までを合わせると74%の人が午後に利用していることが分かる。

④路線バスの利用者の要望は「本数が少ない」と「もっと早い時間帯と遅い時間帯」

路線バスについて、運行本数や運行時間帯に対する要望もあるが、一方で「現行のままで良い」という意見も半数近くある。

⑤利用者の増加対策は、「新たな交通システムの導入」「新たな路線バス」「現在の路線バスの「料金を下げる」「バス停の増」「増便」

路線バスの利用者が増加する条件としては、デマンド型のバスやタクシーなどの新たな交通システムを導入すれば利用者の増加が図られるとの声が多いが、料金の値下げや、新たな定期路線バスを走らせる、バス停を増やす、増便するなど現在の路線バスの環境を改善すれば利用者の増加が図られるとの声も多い。

※詳細については町ホームページをご覧ください。
●問い合わせ先 企画財務課企画調整業務 ☎(62) 2112

2月12日(金)から始まります。 申告相談会

申告の準備はお早めに

◎住民税・国民健康保険税の申告が必要な人

1. 今年の1月1日現在で町内に住所があり、所得税の確定申告をしていない人。
2. 給与所得者か年金受給者で年末調整を済ませたが、昨年中に給与・年金以外の所得があった人。
3. 所得がまったくなかった人でも、次に該当する人は住民税だけの申告が必要で、申告をしないままです。申告をしないままです。申告をしないままです。

ア. 親や子どもの税制(申告)上の「扶養控除」の対象となっていない人

- イ. 国民健康保険・介護保険に加入している人
- 国民健康保険税、介護保険料の世帯平等割額と被保険者均等割の軽減措置や高額療養(医)費、サービス費などの適正な給付(所得に応じた限度額・負担区分など)。

介護保険の要介護認定を受けている皆さんへ

～障害者控除のご案内～

申告する本人または扶養親族が「障害者(特別障害者)」に該当する場合、「障害者控除」として一定金額を所得から差し引くことができます。

介護保険の要介護認定を受けている人は、障害者控除の対象になる場合がありますので、必要な人は役場保健福祉課高齢者福祉業務に申請して『障害者控除対象者認定書』の交付を受けてください。認定書は税の申告の際に提示してください。ただし、この認定書は、税の申告にご利用いただくためのものです。障害者手帳の代わりになるものではありませんのでご注意ください。

●要介護認定に関する問い合わせ先 保健福祉課高齢者福祉業務 ☎(62)2115(直通)

▼税に関する問い合わせは
税務課 賦課業務 ☎(62)2113

平成21年分 申告相談会日程と対象地区割り

月日	曜日	受付時間	会場	対象地区
2月12日	金	9:30~11:00 13:00~16:00	役場正庁	上ノ上 牛沼 仁蔵 桜ヶ丘 釜井 千貫
2月15日	月	9:45~11:00 13:00~15:30	猪苗代町防災センター	川桁(1~11組) 川桁(12~23組) 新屋敷
2月16日	火	9:30~11:00 13:00~15:00	↓	白津 道下 幸野 東館 曲淵 長瀬行政区外
2月17日	水	10:00~11:00 13:00~15:00	中ノ沢体育館	中ノ沢 達沢 大原 沼尻駅前 沼尻温泉 高森
2月18日	木	9:45~11:00 13:00~15:30	翁島地区 コミュニティーセンター	三城潟 行津桜川 西真行 大在家 不動 磐根 翁島駅前 翁島行政区外
2月19日	金	9:30~11:00 13:00~15:00	↓	新在家 蟹沢・長浜 土田 西久保 東南真行 戸ノ口・三本木・金子沢
2月22日	月	9:45~11:00 13:00~15:30	樋ノ口多目的集会所	樋ノ口(1~6組) 白木城 小水沢 樋ノ口(7~12組) 蒲谷地 金堀 木地小屋
2月23日	火	9:30~11:00 13:00~15:00	↓	小田(1~5組) 田茂沢 市沢 吾妻行政区外 小田(6~10組) 名家 酸川野
2月24日	水	9:45~11:00 13:00~15:30	月輪地区 コミュニティーセンター	志田浜 都沢 松橋 上戸駅前 関脇 川崎 中目
2月25日	木	9:30~11:00 13:00~15:30	↓	金曲(1~5組) 夷田 湊志田 金曲(6~13組) 小平潟 上戸
2月26日	金	9:30~11:00 13:00~15:00	↓	壺下 田子沼 山潟 松橋浜
2月28日	日	9:30~11:00 13:00~16:00	役場正庁 「日曜申告相談会」	全地区を対象としますが、お勤めなどで平日に来られない人だけとします。※大変混みますので上記以外の方はご遠慮願います。
3月1日	月	9:30~11:00 13:00~16:00	役場正庁	九軒町 富永 神明町 廻谷地 沼ノ倉
3月2日	火	9:00~11:00 13:00~16:00	↓	扇田 本町 土町 長坂
3月3日	水	9:00~11:00 13:00~16:00	↓	今泉 旭町 八千代 島田
3月4日	木	9:00~11:00 13:00~16:00	↓	六角 蜂屋敷 新北町 見柵
3月5日	金	9:00~11:00 13:00~16:00	↓	柵次 打越 半坂 上新町 猪苗代行政区外
3月8日	月	9:00~11:00 13:00~16:00	↓	相名目 明戸 千代田 伯父ヶ倉
3月9日	火	9:00~11:00 13:00~16:00	↓	新堀向 内野 入江 四ッ谷 五十軒
3月10日	水	9:00~11:00 13:00~16:00	↓	烏帽子 百目貫 名古屋町 北高野 スキ一場
3月11日	木	9:00~11:00 13:00~16:00	↓	古城町 荻窪 川上 西館 下館 葉山
3月12日	金	9:00~11:00 13:00~16:00	↓	新町口 天鏡台温泉 水沢 中町 渋谷 砂川
3月15日	月	9:00~11:00 13:00~15:00	↓	堤崎 見柵山 志津 新町イ

が基礎控除などの所得控除を超える場合や、給与所得の年末調整が済んでいない人。昨年中途退職した人。

◎申告の必要がない人

1. 税務署で確定申告をする人。
2. 給与所得者または年金受給者で、年末調整をした人。

◎申告相談に必要なもの(税務署で申告する場合も必要です)

1. 所得関係
 - ① 農業所得者
 - ② 収入内訳書と収支計算書
 - ③ 事業所得者(農業除く)
 - ④ 収入内訳書と収支計算書
 - ⑤ 給与、貸金支払明細書

※右記の書類を持参しない場合、申告書が作成できませんので必ず持参してください。

2. 控除関係
 - ① 障害者控除
 - ② 雑損控除
 - ③ 医療費控除
 - ④ 医療費計算書、医療機関などの領収書

※確定申告には必ず源泉徴収票が必要です。

- ④ 譲渡所得者
- ・ 収用、買取などの証明書
- ・ および売買契約書
- ・ 譲渡費用の経費明細書、領収書
- ⑤ 不動産所得者
- ・ 土地、家屋の賃貸借契約書、または賃貸料の分かる書類
- ・ 土地改良区などへの負担金などの領収書
- ⑥ 固定資産税の課税明細書

3. その他持参するもの

- ① 印鑑
- ② 預金通帳等

お願い

申告期間中は、各会場に職員が出向き、台帳などを持ち出します。指定会場以外の場所での申告相談は受け付けられません。また、相談会場は大変混雑し、待ち時間でご迷惑をおかけすることがあります。なお、今後も対象地区の人を最優先としますのであらかじめご了承ください。

E lementary school



写真上 この日参加した児童全員が集合。来年のえと、成就トラの前で記念撮影。
写真下 参加した児童を代表して発表をした猪苗代小学校6年の涌井光佑さん(左)と遠藤安也奈さん(右)

未来の自分たちへの贈り物

第3回猪苗代"えと"タイムカプセル埋設式は12月16日、ホテルリステル猪苗代内の猪苗代ハブ園で開催され、町内各小学校から6年生146人が参加しました。

猪苗代の子供たちの夢を応援する会の鈴木長治代表が趣旨を説明した後「どこまでもやり抜くという強い気持ちを持って、夢を追い続ける努力をしてください。12年後にまた会いましょう」と児童らにメッセージを送りました。

参加した児童を代表して、猪苗代小学校6年の涌井光佑さんが「12年後は事件の少ない世の中になっていることを願います。またここで会いましょう」遠藤安也奈さんは「修学旅行の写真と自分への手紙を入れました」と発表しました。

児童たちは、12年後を楽しみにしながらタイムカプセルを埋め、再会を誓いました。

J unior high school



写真上 クラス一丸となって2曲を歌いあげた3年2組の皆さん。演奏後、会場は大きな拍手に包まれました
写真下 「中学校生活の最高の思い出になりました」と今田さん(左)と鈴木さん(右)

クラス全員が心を込め歌う

2009 いなわしろ音楽祭は12月12日、町体験交流館で開かれ、合唱コンクールで最優秀賞を受賞した猪苗代中学校3年2組の生徒28人が参加しました。

この日は「春よ、来い」と「信じる」の2曲を披露。伴奏を務めた学級委員長の今田実里さんは「初めてのホールで緊張しましたが、音や声が全然違う。気持ち良く演奏できました」、指揮者を務めた副委員長の鈴木将平さんは「みんなよく声が出ていたので、気持ち良く指揮ができました。点数をつけるとしたら150・・・いや170点くらいですね」と笑顔で感想を述べました。

生徒の指導に当たった担任の大内裕司教諭は「ホールでの演奏ということで体育館とは違う響きがあった。生徒たちも気持ち良く歌えていたと思います」と教え子たちの活躍を褒めたたえました。

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO

H igh school



写真上 大雪の中でも黙々とトレーニングに打ち込みます。
写真下 コースに向かい整列し「お願いします」とあいさつして練習の準備に入ります。猪苗代高生の礼儀正しさには、いつも感心させられます。

クロカンチームが雪上トレ

猪苗代高校スキー部クロスカントリーチーム(部員7人)が、雪上でのトレーニングを開始しました。大雪警報が発令された12月18日、その練習を見学させていただきました。

同校体育館でのウォーミングアップを終え、猪苗代スキー場の下側、30度以上も雪が積もる林道に向かいます。武藤コーチのランドクルーザーが雪を踏み固めた後、自分たちでコースを作るところから練習開始です。シーズンの初めとはいえ、厳しい練習環境だと思いましたが、生徒たちは黙々と取り組んでいました。

クロスカントリーチーム代表の加藤由香さん(3年)は「女子チームリレーの目標はインターハイの入賞です。現在、福島県のリレー参加枠は1チームなので、悪くても20位以内に入って福島県の枠を増やしたいです」と意気込みを語りました。

N ursery school



写真上 「一人でも持てるよ」と話したうめ組の男の子。一人でももちをつこうとしましたが、やっぱりみんなと一緒にが楽しい。
写真下 佐藤想汰くん(右)と高橋真緒ちゃん(左)

自分たちでもちをついたよ

12月に入り、町内各保育所では恒例のもちつき会が開かれました。

新型インフルエンザの影響で延期となっていた猪苗代保育所のもちつき会は12月11日、同保育所で開かれ、子どもたちの「よいしょ、よいしょ」という元気なかけ声ともちつきの歌が保育所中に響き渡りました。

つきたてのモチは、汁もち、アーモンドもちと納豆もちの3種類に分けられ、子どもたちのお昼ごはんになりました。

佐藤想汰くんは「きねは重くなかったし、楽しかった。アーモンドもちが一番おいしかった」、高橋真緒ちゃんは「もちつきは楽しかったです。納豆もちがおいしかった」と感想を話しました。

きねを持っていない小さな子どもたちも、お兄ちゃん、お姉ちゃんのもちつきを笑顔で見つめていました。



話題のあの体操が猪苗代に

やきとりじいさん体操で汗を流す



やきとりになった気分？くし刺しのポーズ

町民健康運動教室の最終回は12月9日、カメリーナで開催されました。やきとりじいさん体操考案者の岡田麻紀先生（桜の聖母短大講師）を迎えた今回は約80人が参加。やきとりじいさん体操に挑戦し、さわやかな汗を流しました。

参加した野村千尋さん（百目貫）は「思っていたよりも激しい体操でびっくりしました」と笑いながら話しました。

岡田先生は「猪苗代の皆さんはとても息が合っていました。仲良く、和やかな雰囲気が進められて良かったと思います」と感想を述べました。

渡部喜則さんに功労者表彰

町役場で町長、教育長に受賞報告



左から土屋教育長、渡部さん、津金町長

全国体育指導委員連合の功労者表彰を受賞した渡部喜則さん（曲淵）は12月4日、町役場を訪れ、津金町長、土屋教育長に受賞の報告をしました。渡部さんは昭和58年から町体育指導委員、平成10年から現在まで町体育指導委員長を務めるなど、27年の長きにわたり町スポーツの振興に尽力されています。

「受賞できたのは周りの皆さんに支えていただいた結果」と話す渡部さん。今後ますますのご活躍を期待します。

表彰は11月に山口県で開かれた全国体育指導委員研究協議会の席上で行われたものです。

町を元気にするハーモニー

いなわしろ音楽祭学びいで開催



クライマックスは猪高生と吹奏楽団による「天地人」

2009いなわしろ音楽祭は12月16日、町体験交流館で開催されました。主催者を代表して猪苗代吹奏楽団の石沢房昭団長が「今回初めてこのような設備の整った会場での開催となり、今まで以上に緊張するとともに興奮しています」とあいさつした後、津金町長、小松山六郎体験交流協会会長が祝辞を述べました。

今年で19回目を迎えた同音楽祭には、猪苗代吹奏楽団のほか福島県ばんだい荘あおば、猪苗代高校吹奏楽委員会や猪苗代中学校3年2組の3団体が出演し、見事なハーモニーを奏で観客を魅了しました。

シーズン中の無事故を祈願

猪苗代スキー場で安全祈願祭



神前で今シーズンの安全を願う津金町長

猪苗代スキー場の安全祈願祭は12月1日、同スキー場「I・S・K」で開催されました。

祈願祭には町内の関係団体やスキー場関係者ら約50人が出席、玉ぐしをささげ今シーズンの安全と盛況を願いました。

神事後、佐々木真一猪苗代スキー場組合理事長が「地球温暖化やウィンタースポーツの多様化など、スキー環境を取り巻く状況は厳しいが、今年は観光商品券いなチケの発行、新しいパンフレットの作製や毎週のイベントなどが目白押し。多くのスキーヤー、スノーボーダーの来場を願う」とあいさつをしました。

「地域の宝」子どもを守る

吾妻みまもり隊の通学路パトロール



横断歩道の街頭指導も実施しています

子どもたちにつわる事件や事故が後を絶たない中、安心、安全な地域づくりを目的として18年7月に結成された吾妻みまもり隊（佐藤太市代表 隊員30人）。昨年1年間も地区の子どもたちを見守り続け、事件や事故の防止に努めました。

隊員の皆さんは、登下校の時間だけでなく、自由な時間帯に通学路を巡回するなどして地域全体の安全も守ります。

「おはようございます」「おはよう、勉強頑張れよ」そんな言葉のやりとりは冬の間も続き、雪で狭くなった道路や車などから子どもたちを守ります。

12年後の自分にメッセージ

猪苗代"えと"タイムカプセル埋設式



各校代表の児童が宝箱にしっかりとカギをかけました

猪苗代の子供たちの夢を応援する会（鈴木長治代表）が主催する第3回猪苗代"えと"タイムカプセル埋設式は12月16日、ホテルリステル猪苗代内の猪苗代ハーブ園で開催され、町内各小学校から6年生146人が参加しました。

参加した児童を代表して、猪苗代小学校6年の涌井光佑さんと遠藤安也奈さんが「12年後の自分たちにメッセージを送ります」と発表。その後、宝箱にカギをかけ、そのカギを入れたカプセルを封印しました。

児童たちは12年後の宝箱との再会を楽しみにしていました。

もっと知って！食改



スーパーの店頭で食改の日をPR

皆さんは食生活改善推進員(以下食改さん)をご存知ですか？おそろいのラベンダー色のエプロンを身に付けた、元気のいい女性たち。町の事業や地域のイベントで一度は見かけたことがあるのではないのでしょうか。

食改さんは、「わたしたちの健康はわたしたちの手で」をスローガンに、食生活改善に対する正しい考え方と知識を普及し、地域住民の健康づくりに役立つことを目的として活動するボランティアです(ヘルスメイトとも呼ばれています)。

全国で22万人が活躍し、町でも現在34人の会員が無理なく楽しくをモットーに活動しています。

食改さんの活動には、自主的なもの、町と協力して実施するもの、日本食生活協会からの委託事業などがあります。

自主的なものには、調理研修、健康づくりのためのウォーキングや男の料理教室などがあり好評を博しています。

町と協力して実施するものには、生活習慣病予防のための栄養講習会や地区伝達講習会があります。また、町事業のちびっこランドや骨粗しょう症予防教室などの事業にも協力しています。

日本食生活協会からの委託事業には、食育月間推進事業、ヘルスサポート21事業、作って食べよう楽しい食事などがあります。食育月間にはスーパーの店頭で食改の日をPRし、ヘルスサポート21事業では地元



毎回好評を博している男の料理教室

の野菜を使った調理実習を実施しました。

毎月の広報やホームページには、食改さんが考えた健康レシピ、料理教室で作ったメニューや活動の記録などが紹介されています。「今晚のおかずは何にしよう？」と迷った時は、ぜひご覧ください。おいしいヒントがきっと見つかります。

バランスのとれた規則正しい食事が健康の基本であることは誰もが知っています。自分で改善しようとする、わからないことがたくさんあります。

食改さんは、学問的な

知識、食生活や健康の問題を人に教える先生ではありません。自分の生活体験を通じて食生活に対する「生きた知恵」を貸してくれる人です。

地域の皆さんとともに勉強して、健康づくりのための世話役、案内役として元気で活力のある町づくりのために頑張っています。

まずは自らがより良い健康生活を実践し、次は家族のため、そして近所の人、さらに地域の皆さんへと輪を広げていきます。一人では続けるのが難しい健康づくりも、みんなと一緒に取り組むことで実践できるのではないのでしょうか。

皆さんも食改さんの考えたレシピを参考に、健康のための食事について考えてみてください。

女性特有のがん検診 無料クーポンの 期限が迫っています

無料がん検診(子宮頸がん・乳がん)クーポンの有効期限は22年2月28日です。

まずは検診の予約をしてください。有効期限が近付くと予約が取りにくくなり、受診できなくなる場合があります。

無料クーポンの交付までの間に検診を受診した人は、支払った自己負担金(子宮頸がん検診集団500円、施設1千円)(乳がん検診集団1千円または1千500円)の返還手続きをさせていただきます。

22年3月31日まで受け付けます。

▼問い合わせ先
保健福祉課
健康づくり業務
☎(02)21115



ママとお姉ちゃんの優衣ちゃん(写真左5歳)とポーズ。

「新しい遊びは何でも好き。とっても好奇心旺盛なんです」とママの晶路さん。

長谷川 聖 くん

平成20年9月生まれ
～翁島駅前
治さん・晶路さん夫婦の長男

5歳になるお姉ちゃんと同じくらい大きな体で元気いっぱいのお姉くん。いつも2、3歳の子どもに間違えられるそうです。「高いところが好きで、階段を登ったり降りたりして遊んでいます。危なくて目が離せない」と口をそろえるママと祖母の幸子さん。

「今日も顔があざになつてるのよ」と心配顔のママをよそに聖くんは元気に遊んでいます。「とにかく外に出れば機嫌が良くなる」とママが言うくらい、外で遊ぶのが大好きな聖くん。カメリーナの公園と近所を散歩するのがお気に入りです。

食事の準備など、お母さんのお手伝いをするしつかり者のお姉ちゃんに続いて、最近は台所にも立ち始めたそうです。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(02)2111

サークル紹介

Circle introduction

適度な運動や食事を通して、健康な体づくりを目指す「まごわやさしい」の皆さん。16人の会員で活動中です。

まめ、ごま、わかめなどの海藻類、やさい、さかな、しいたけなどのキノコ類、いもなどの食物繊維。一日の食事でこれを全部食べようという目標が団体の由来だそうです。

元郡山女子短期大学教授の春日栄子さん(古城町)が体操、福島県健康管理士会の蛭田さゆり会長(郡山市)が健康講話と食事づくりの指導を担当。調理の実習では体の免疫力を高める効果があるメニューを研究しているそうです。

※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。毎月一団体ずつ紹介していきますので、希望する団体は総務課秘書広報業務まで問い合わせください。
☎(02)2111

まごわやさしい

(宇月 静子代表)

会員一人一人がその日のテーマについて発言をする座学



(写真左)この日のメニューは野菜たっぷりのすいとん
(写真右)健康講話でウイルスと新型インフルエンザについて話を
する蛭田会長



体験交流館ニュース

母から子への手紙コンテスト表彰式

「母から子への手紙コンテスト」表彰式は12月6日(日)、体験交流館で開催されました。

会場には受賞者のほか、今回の審査にかかわった猪苗代のお母さんたちも駆け付け、受賞作の朗読に耳を傾けました。



表彰式の後には、最終選考委員長の玄侑宗久先生による講演会も開かれました。「むすんでひらいて」の歌を基に、人としての生き方や、母と子の絆の深さなどについてお話して

いただきました。

右のQRコードを携帯電話で読み込むと、「母から子への手紙コンテスト」入賞作品上位10編をご覧になれます。



講座の様子から～蕎麦打ち講習会～



今年度の蕎麦打ち講習会も折り返し地点を過ぎました。当初は悪戦苦闘していた受講生の皆さんも、回を重ねるにつれて上手になってきました。おそらく年越し蕎麦も自分で打ち、蕎麦を買って食べるのとは違う喜びを味わったのではないのでしょうか。

このように、体験交流館では来年度も皆さんの役に立つ講座を数多く開催するため、企画を練っています。

「こんな講座があったらいいな」という案がありましたら、気軽に電話やメールをいただければと思います。皆さんの意見を集約しながら実現可能なものに関しては、前向きに検討していきたいと思っております。

編み物教室に参加しませんか

体験交流館研修室において、古川和子さん(松橋)のボランティアによる編み物教室が開催されます。お手元に編みかけになっているものや編み方がわからないものなどありませんか？

全員で同じ作品という形式ではなく、一人一人に合わせた指導をしていただけますので、受講を希望する人や詳しい内容について知りたい人は下記まで連絡してください。

※受講申し込み・問い合わせ先 講師 古川和子さん ☎(66)3339

●期日：1月13日、20日、27日、2月3日、10日、17日、24日、3月3日(すべて水曜日)

●時間：9:00～15:00 ●会場：町体験交流館

ふるさと歴史館ニュース

新刊図書入荷しました

ふるさと歴史館の図書コーナーに、新刊図書を入荷しました。貸し出し手続きは簡単です。お気軽に窓口にお声かけください。

【小説】

- 新三河物語 上・中・下(宮城谷 昌光)
- 夕映え天使(浅田次郎)
- 不毛地帯1～5(山崎豊子)
- モダンタイムス(伊坂幸太郎)
- 神様のカルテ(夏川草介)
- 仮想儀礼 上・下(篠田節子)
- 青少年のための読書クラブ(桜庭一樹)
- ぼくと駐在さんの700日戦争1～5(ママチャリ)
- 風渡る(葉室麟)
- 訪問者(恩田陸)
- 目線(天野節子)
- 魚神(千早茜)
- 新参者(東野圭吾)
- 美女いくさ(諸田玲子)
- 秋の牢獄(恒川恒太郎)
- 瞽女の啼く家(岩井志麻子)
- 骸骨ビルの庭 上・下(宮本輝)
- ハゲタカII 上・下(真山仁)
- ストロベリーナイト(誉田哲也)



【児童書】

- ぐりとぐらのしりとりのうたとおまじない(なかがわえりこ)
- でんしゃだいしゅうごう111
- 進化の迷路(香川元太郎)
- 続・時の迷路(香川元太郎)
- くらべる図鑑(図鑑NEO)

【その他】

- 体温を上げると健康になる
- コワイほどやせる!骨盤スクワット
- 会津キリシタン研究(小堀千明)
- 天才は10歳までにつくられる(横峯吉文)
- 坂本龍馬伝 新人物往来社編

官民協働プロジェクト

■照明研修

体験交流館の大研修室の照明研修は12月3・4の両日開催されました。

この研修は、体験交流協会所属の希望者が受講したもので、各イベントの際に裏方として事業を支えてくれる人を養成するものです。参加者はライトの種類やその効果、当て方などを学びました。今後も音響研修などを開催する予定です。

■「亀ヶ城公園整備^{きかく}鶴会議」参加者募集

町と体験交流協会体験学習推進部会では、官民協働事業として22年度より、亀ヶ城公園内の鶴峯城跡地、ビオトープやロックガーデンなどの整備を実施します。新年より整備の内容や方法、整備後の活用などについて検討するため、『亀ヶ城公園整備鶴(企画)会議』を開催することになりました。会議では、鶴峯城跡地の歴史や植物・生物に興味がある人の参加を募集しています。みんなで一緒に、より良い公園を作りましょう。

●申し込み・お問い合わせ 建設課 ☎(62)2118



猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

体験交流協会に所属している団体の活動内容や入会方法などの詳細な情報を、1月から体験交流館で閲覧できるようになりました。

人生の楽しみ方の選択肢が増えるはずですよ。興味のあるものがあれば積極的に参加してみませんか？

ニュースポーツフェスティバル2010開催

町民の皆さんの健康増進とニュースポーツの普及のために、下記の内容でスポーツフェスティバルを開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

日時：1月23日(土) 9:00～12:00

場所：町総合体育館(カメリーナ)

種目：カローリング、フリスビー、タスポニーなど(種目は変更の場合あり)

参加料：無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

お問い合わせ：生涯学習課 ☎(72)0180



町民バドミントン大会の結果

町民バドミントン大会は12月6日(日)、総合体育館で開催されました。大会の結果は以下のとおりです。

■1部(親子の部) 1位：鈴木杏奈・鈴木修一 2位：吉田直梯・野内勝幸

■2部(中学生) 1位：山本早希・本間ひかり

■3部(高校・一般) 1位：鈴木友唯・羽田啓吾 2位：五十嵐千夏・北條由華

■4部(シニア・初心者) 【男子】1位：鈴木宏・大森義雄 2位：川野正文・南條尚正

【女子】1位：穴澤喜美・吉田幸江 2位：高畑まゆ子・菅野文代



猪苗代歴史探訪
～四神相応の地 猪苗代～

日本では古くから宮都や城郭の形成、家屋の建築の際に、最良の土地や建物の配置を選定するため、風水によって吉凶を占った。風水とは、古代中国の陰陽五行説に基づき土地の地勢を占うもので、律令制度の中では陰陽師が司り、後に民間に広く流布し、日本神道の成立に大きな影響を与えた。風水でいう繁栄の土地とは、「北の玄武、東の青龍、南の朱雀、西の白虎」のいわゆる四神に守られた場所のこと。地勢的には「北に高い山、東に清い水の流れ、南に平らで乾いた土地、西に小高い丘」があり、これらに囲まれた所が最もとされる。

この地相を猪苗代地方に当てはめると、北に高い山として磐梯山、東に水の流れとして長瀬川、南に平らな土地として猪苗代湖北岸の沖積地、西に小高い丘として翁島泥流丘陵地がある。

猪苗代は四神相応の地であり、猪苗代城や土津神社の選地が風水に基づいていることが分かる。

(兼田)

四神相応の地 猪苗代

幼稚園

22年度の幼稚園入園児を募集します

町では、22年度の幼稚園入園児を次のとおり募集します。

▼対象幼児

町内に住所を有する満4歳児・5歳児

○5歳児(平成16年4月2日～17年4月1日生)

○4歳児(平成17年4月2日～18年4月1日生)

▼募集定員

・猪苗代幼稚園 140人

・千里幼稚園 105人

・翁島幼稚園、みどり幼稚園、長瀬幼稚園、吾妻幼稚園はそれぞれ 70人

▼受付期間

22年1月8日(金)～29日(金)

▼申し込み方法

各幼稚園に備え付けの入園願書に必要事項を記入の上、希望する幼稚園に申し込んでください。

▼幼稚園保育料

月額 5千6百円

▼その他

保育料のほかに保育用品代や教材費などが必要となります。

▼問い合わせ先

教育総務課教育総務業務
☎(62) 5677

定時のお迎えが難しい家庭の皆さん

22年度の預かり保育を右記のとおり猪苗代幼稚園と千里幼稚園で実施します。

希望する人は、預かり保育申込書に必要事項を記入の上、申し込んでください。

なお、通常保育料のほかに預かり保育料がかかります。

▼預かり保育料

月額 5千円

▼預かり保育の実施時間

1 通常の幼稚園教育が行われている日

早期

午前7時30分～午前8時30分
幼稚園の終了後
終了時～午後6時

2 土曜日、学年始休業日、夏季休業日、冬季休業日、学年末休業日の午前7時30分～午後6時まで

▼問い合わせ先

教育総務課教育総務業務

☎(62) 5677

または各幼稚園

猪苗代幼稚園

☎(62) 3234

千里幼稚園

☎(65) 2291

児童

放課後児童クラブの登録児童を募集

放課後の生活指導や長期休業中の余暇指導をする、学童保育(児童クラブ)に来年度の登録を希望する児童を募集します。

▼対象児童

①町内小学校に在籍する1年生から6年生の児童

②留守家庭の児童

※ただし、①②の要件を満たしても、希望者多数の場合は、1年生から3年生までの低学年児童および通学区域に事情のある児童を優先します。

▼開設場所と定員

(別表のとおり)

▼開設時間

①月曜から金曜の平日
放課後～午後6時

②土曜日

午前8時～午後6時

③学校長期休業中

午前8時～午後6時

④学校振り替え休日(運動会等での振り替え休日)

午前8時～午後6時

▼指導内容

生活指導、余暇指導

▼経費

保育所

22年度の保育所入所児を募集します

町では、22年度の保育所入所希望児を募集します。

▼入所対象者

町内に住所を有し、保護者や同居の親族が働いているなどの理由で、保育ができない場合。ただし、その家庭でどなたかが保育できる場合は除きます。

・常時働いている場合(家庭外労働、自営業、内職など)・母親の出産の前後、病気、負傷、または心身に障害がある・家庭内に長期にわたる病人などがいて、いつもその看護に当たっている場合・火災、風水害、地震などによる家屋などの復旧にあたっての間・その他保育ができない場合(就学、父母の不在、求職中)

▼受付期間

1月4日(月)～30日(土)

▼募集定員

①猪苗代保育所

80人(うち生後6カ月以上1歳未満児3人)
②川桁保育所
45人(うち生後6カ月以上1歳未満児3人)
③中の沢保育所
35人(うち生後6カ月以上1歳未満児3人)

▼年齢の起算

22年4月1日現在での満年齢。

▼申し込み方法

各保育所に用意してある申込書に必要事項を記入の上、必要な書類を添付して最寄りの保育所に申し込んでください。

▼申し込みに必要な書類

①保育所入所申込書

②21年分源泉徴収票(年末調整済みのもの、父母分)か21年分確定申告書(控)

③父母の在職証明書

④課税台帳閲覧同意書

▼開所日

日曜日・祝祭日・1月2日、4日・12月29日～31日を除く日

▼保育時間

午前8時30分～午後5時15分

保護者の勤務時間の都合で通常時間での送迎が困難な児童については、午前7時30分から午後6時までお預かりします。

▼保育料

負担金は、利用申請者の指定する口座からの引き落としとなります。初めて登録する人は、取引金融機関(銀行、JA、郵便局)に口座振替依頼書を提出し、引き落としの手続きをしてください。

(別表)

①負担金 月額二千円(予定)
(減免規定を見直します)
②その他
教材費 月額千円
傷害保険料 月額二千円程度
おやつ代金 実費分

▼受付期間と方法

22年1月8日(金)～29日(金)
保護者の希望による登録制です。

児童クラブ名	開設場所	定員
猪苗代児童クラブ	猪苗代町児童館	40人程度
千里児童クラブ	千里地区コミュニティセンター	40人程度
吾妻児童クラブ	吾妻小学校内いこいのスペース	40人程度
緑児童クラブ	月輪地区コミュニティセンター	40人程度
長瀬児童クラブ	旧長瀬連絡所	40人程度
翁島児童クラブ	翁島地区コミュニティセンター	40人程度

利用申請書に記入の上、各児童クラブ、または保健福祉課へ申し込んでください。

生活

地籍図・字限図の閲覧を休止します

21年中の土地の分筆や合筆などの土地異動分を修正するため、次の期間は地籍図と字限図が閲覧できなくなります。

▼休止期間

2月1日(月)～3月25日(木)

なお、福島地方支務局若松支局では閲覧できます。

▼問い合わせ先

税務課賦課業務

☎(62) 2113

募集

放課後児童クラブの指導員を募集

児童に放課後の生活指導や長期休業中の余暇指導を集団で行う児童保育(児童クラブ)の来年度の指導員を募集します。

▼募集人員 指導員 18人
補助指導員 若干名(補助指導員は、指導員が休暇を取る場合の代替として勤務します)

▼資格要件 心身ともに健康で、22年4月1日現在65歳以下の次のいずれかに該当する成人

①教諭、保育士の資格を持つ人
②児童健全育成に熱意のある人

▼勤務条件

- ①月曜から金曜の平日
午後1時～午後6時15分
- ②土曜日
午前8時～午後6時15分
- ③長期休業中
午前8時～午後6時15分
- ④学校振り替え休日(運動会等での振り替え休日)
- ⑤休日
午前8時～午後6時15分

※勤務時間を変更することがある

ります。
▼勤務内容 児童の生活指導、余暇指導、クラブの庶務会計

▼勤務場所 猪苗代児童クラブを除く児童クラブ

▼応募手続き

町指定の履歴書に写真貼付の上、2月12日(金)まで、保健福祉課へご応募ください。履歴書は保健福祉課に備え付けてあります。

▼問い合わせ先 保健福祉課社会福祉業務
☎(62) 2115

町・小野育英会奨学生を募集します

町と小野育英会では、22年度の奨学生を募集します。対象者は、町内に在住し、この4月から高等学校に進学する人です。

▼奨学資金の額

両奨学資金とも月額 1万円

▼貸与期間

22年4月から25年3月までの3年間

▼願書提出期限

3月5日(金)

▼出願方法

・奨学生願書と奨学生推薦調書
を、在学する学校経由で教育総務課へ提出してください。
・奨学生願書には、連帯保証人

の署名が必要です。
・連帯保証人は、本人の父、母、兄弟またはこれに代わる人で、奨学資金返還の義務を負える人に限ります。

▼問い合わせ先 教育委員会教育総務課
☎(62) 5677

掲示板

告示

- ・第114号「充当通知書の公示送達について」
- (税務課収納業務)
- ・第116号「猪苗代町定例議会招集について」
- (総務課行政管理局)
- ・第117号「猪苗代町小規模介護施設緊急整備特別対策事業補助金交付要綱」
- (保健福祉課高齢者福祉業務)
- ・第118号「平成21年度国民健康保険税督促状の公示送達」
- (税務課収納業務)
- ・第119号「債権差押書の公示送達について」
- (税務課収納業務)
- ・第120号「国民健康保険被保険者証無効告示」
- (町民生活課国保年金業務)
- ・第121号「充当通知書の公示送達について」

公告

- 示送達について
- (税務課収納業務)
- ・第122号「充当通知書の公示送達について」
- (税務課収納業務)
- ・第123号「不動産等の最高価申込者決定通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第43号「公売公告及び見積価格公告(第6号)」
- (税務課収納業務)
- ・第44号「農用地利用集積計画について」
- (農業委員会農地業務)
- ・第45号「町道路線の供用開始に関する告示について」
- (建設課建設業務)
- ・第46号「農業災害対策事業(農業等施設復旧対策事業) 補助金交付決定」
- (農林課農林業務)
- ・第47号「農業災害対策事業(農業用施設復旧資材購入事業) 補助金交付決定」
- (農林課農林業務)
- ・第48号「不動産等の最高価申込者決定公告(第6号)」
- (税務課収納業務)
- ※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧になるか、それぞれの担当課に問い合わせてください。

子育て支援ガイドブック(仮称)の発行について

町では子育て中や妊娠中の皆さんへの「子育て支援ガイドブック」(仮称)を発行予定です。ガイドブックには、子育てに関する手続きの仕方、子どもが急な病気の時にどこに連絡すればいいか、町内の遊び場など、子育てに役立つ情報が満載です。

その中の一部として「子育てママさん」や「育児サークル」について掲載予定です。「子育てママさん」として支援可能な人、紹介したい「子育てサークル」について募集します。

◆『子育てママさん』について

保護者の用事や病気などにより、一時的に保育が必要な幼児や児童を預かるのが、「子育てママさん」です(期間や料金については、相談となります)。

本年度実施した、次世代育成支援に関するニーズ調査においても、急な用事、通院や美容院などの際に、一時的な預かりを希望する保護者のニーズが増えています。本町においても家族類型の変化により、子育てにおいて支援を得られない家庭が多くなっているのが現状です。

子育ての経験や保育などの資格を持っている人、また子育て支援に協力していただける人を募集し、ガイドブックで周知します。

《応募方法》以下のような内容で掲載予定ですので、内容について、保健福祉課まで電話、FAX、電子メールなどでご連絡ください。



掲載例【メンバー紹介】

氏名	行政区・連絡先	提供できる内容	資格・経歴
猪苗代 花子	四ツ谷・(62)2115	一時預かり・病児預かり ・夜間預かり(22時まで)	幼稚園教諭免許・保育所保育・児童クラブ指導員・子育て経験あり
磐梯 雪子	本町・(62)2123	一時預かり・平日保育 (日中のみ)	保育サポーター養成講座終了 ・調理師免許・子育て中

◆『子育てサークル』について

親子で参加して遊んだり交流を図ったりしながら、子育ての悩みや孤立感を解消する任意のグループを紹介します。

《応募方法》以下のような内容で掲載予定ですので、内容について、保健福祉課まで電話、FAX、電子メールなどでご連絡ください。営利目的や宗教活動については掲載しません

掲載例【サークル紹介】

団体名	対象者	活動日時	活動場所	活動内容
〇〇キッズ	未就学児および保護者	毎週水曜日	〇〇コミュニティセンター	季節の行事、集団遊び、情報交換など
〇〇サークル	未就園児および保護者	毎週月・木曜日	〇〇公民館 他	農作業体験やスポーツなど個人ではできないことに挑戦していきます。

■問い合わせ・申し込み先

保健福祉課 社会福祉業務 ☎(62) 2115 FAX(62) 2123 E-Mail fukushi@town.inawashiro.fukushima.jp

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況 (平成21年11月30日現在)

1 犯罪発生状況		年別			
町村別		平成21年	平成20年	増減	増減率%
猪苗代町		138	100	38	38.0
磐梯町		22	23	-1	-4.3
裏磐梯		15	10	5	50.0
計		175	133	42	31.6

町村別		猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
罪種別		21年	20年	21年	20年	21年	20年
窃盗犯計		121	77	19	17	12	8
空き巣			15				
出店荒らし		12	3	2			
忍込み							
事務所荒らし		1					
車上ねらい		6	3				1
自動販売機ねらい		5	2			1	
部品ねらい		3	1				
脱衣場ねらい		9	3				
金庫破り		1				1	
万引き		11	3				
置き		3	5		4	1	2
職場ねらい		1	1	2	6	1	
同居ねらい							
さい銭ねらい		2	2	1			
野荒らし							
給油所荒らし							
スキー・スノーボード盗		6	4	9		5	2
その他の窃盗		36	24	4	6	3	3
自転車盗		20	9				
オートバイ盗		2					
自動車盗		4		1			
その他の乗り物盗			1				
器物損壊		11	12	1	5	3	2
詐欺・横領		1	3	1			
暴行・傷害		1	7	2			
その他の刑法犯		4	1				
総計		138	100	22	23	15	10
増減			38		-1		5

- 自転車の盗難が多発しています。
- 自転車には必ずカギを付けて盗難被害を防止しましょう。

2 交通事故発生状況

死亡事故	1	2	0	0	0	0
増減		-1		0		0
人身事故	99	101	20	21	15	12
増減		-2		-1		3

- ◎「PM4 (ヒールライトオン) 運動実施中です。
- ◎道路が凍結する時期になりました。路面状況にあった安全運転をお願いします。

お知らせ

会津若松税務署の申告書作成会場のお知らせ

会津若松税務署では、所得税(譲渡所得を含む)、消費税や贈与税の申告書の作成や所得税の還付申告書の作成をするための会場を開設します。

●開設期間

22年2月1日(月)～3月15日(月)の午前9時から午後4時まで
※土・日曜日、祝日を除く

●開設場所

会津ロイヤルプラザ2階
(野口英世青春通り)

●注意点

作成会場には駐車場がありませんので、公共交通機関を利用してください。税務署内には申告書を作製する会場はありません。

☎(62) 2113

会津若松税務署 ☎(27) 4311

行政への苦情や要望などを相談してください

行政相談委員の定例相談を実施します。定例相談は毎月1回第3水曜日に開催しています。相談は無料で秘密は厳守しますので、気軽に相談してください。

●開催日時 22年1月20日(水)

2月17日(水)

午後1時から午後3時まで

●開催場所 町役場3階 日本間

●猪苗代町行政相談委員

宮沢 重正さん(下館)

☎(66) 3995

☎総務課 秘書広報業務

☎(62) 2111

人権擁護・行政相談両委員が合同相談会開催

毎日の生活の中で、人権問題ではないかと感じたことや、法律の取り扱いが分からなくて困ったことはありませんか。

そんな時には、人権擁護委員と行政相談委員が、問題解決のお手伝いをします。この機会にぜひご相談ください。

●開催日時 2月9日(火)

午前10時から午後3時まで

●開催場所 町役場3階 日本間

●その他 相談無料・秘密厳守

☎総務課 秘書広報業務

☎(62) 2111

新年あいさつ交換会は1月4日に開催します

年頭にあたって、新年を祝い、さらなる町政進展を誓うため「新年あいさつ交歓会」を開催します(どなたでも参加できます)。

●開催日時 22年1月4日(月)

午前11時～正午

●開催場所

猪苗代町役場3階 正庁

●会費 500円

☎総務課秘書広報業務

☎(62) 2111

募集

フリーター、若年者の合同就職面接会を開催

正社員として就職を希望するフリーターの人、概ね40歳未満の若年者(新規卒卒者を除く)を対象に、正社員を雇用する県内事業所との就職面接会を開催します。

●名称 フリーター・若年者のための合同企業説明会

●開催日時・場所 1月25日(月) 午後1時～4時
ビッグパレットふくしま

●主催 福島県中小企業団体中央会(厚生労働省福島労働局委託事業)

●その他 事前申込不要です。気軽にお越しください。ハローワーク相談コーナーなども設けます。参加事業所は12月下旬、福島県中小企業団体中央会 HP 上で公開します。
<http://www.chuokai-fukushima.or.jp>

※詳しくは下記まで問い合わせてください。

☎福島県中小企業団体中央会

雇用支援室 ☎024(536) 1283

厚生労働省福島労働局職業安定課

☎024(528) 0366

小学生から高校生まで国際交流の参加者募集

文部科学省所管の財団法人国際青少年研修協会では、春休みに小学生から高校生を対象に国際交流事業を実施します。この事業は、体験を通して、お互いの理解や交流を深め、国際性を養うことを目的に実施するものです。

●期間 22年3月25日(木)～4月5日(月)

●内容 ホームステイ、学校体験、英語研修、文化交流など(参加コースにより活動内容は異なります)

●派遣先 アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダなど

※詳しくは下記まで問い合わせてください。

☎財団法人国際青少年研修協会

☎03(6459) 4661

34回ちびっこ探検学校ヨロン島の参加者募集

財団法人国際青少年研修協会では、「ちびっこ探検学校ヨロン島」の参加者を募集しています。この事業は、沖縄に近い南の島、ヨロン島のサンゴ礁の海と美しい自然の中で、全国から参加する仲間との共同生活やさまざまな野外活動を通して、友達作りの楽しさを知り、お互いに協力し助け合い、積極的にチャレンジする心を養います。

主な野外活動は、海での活動(海水浴、イカダ作りなど)や南の島独特の文化を体験する活動(さとうきび刈り、洞窟探検など)です。

●期間 22年3月27日(土)

～4月2日(金)

●場所 鹿児島県大島郡与論町

※詳しくは下記まで問い合わせてください。

☎財団法人国際青少年研修協会

☎03(6459) 4661

消防

消防署からのお知らせ みんなで守ろう文化財

1月26日は文化財防火デーです。文化財は国民の財産です。貴重な文化財を火災から守りましょう。

今年の文化財防火デー火災防御訓練は、天鏡閣で実施されます。

●開催日時 1月26日(火)

午前9時～10時

☎猪苗代消防署 ☎(62) 4433

総務課 行政管理業務

☎(62) 2111

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
メッセージ欄は削除しました。ご了承ください。

※広報に氏名の掲載を希望されない場合は、窓口に申し出てください。

善意をありがとう

社会福祉事業協力金として
渡部 孝美さん(九軒町)

200,000円

町の人口

※21年12月1日現在の人口等については、集計のため来月号で併せてお知らせします。

●町県民税	4期分
●国民健康保険料	7期分
●介護保険料	7期分
●後期高齢者医療保険料	6期分
●上下水道使用料	1月分

▼明けましておめでとう
ございます。今年もよろ
しくお祈りします。▼昨
年の1月から紙面をリ
ニューアルし、ちょうど
1年がたちました。「もっ
と町民の皆さんに読んで
もらえる広報を」そう思
いながら取材をし、いろ
いろな人に広報に登場し
てもらっています。快く
取材に応じてくれる町民
の皆さんのためにも、今
年も頑張ってお知らせを
します。取材へのご協力
情報提供などよろしくお
祈りします。広報へのご
意見、ご感想もお待ちし
ています。(大坂)

編集後記

お詫びと訂正

広報12月号(No.590)の
記事の中に誤りがありま
した。深くお詫びして訂
正いたします。
・17ページ 宝来堂製菓
(有)の記事中
●そば団子 280円
●そば団子 ←
●そば団子 650円

みんなの美術館

1月は長瀬小学校のお友達の作品です

Our Museum

木カー

学校の裏にある「わくわく発見の森」。タイヤのついた大木が、僕らを乗せて緑いっぱいの世界へ連れて行ってくれる。そんな想像をして描きました。木の色にグラデーションを付けたのが工夫したところです。



渡部 雄大^{ゆうた}さん(3年)

ヘチマの国に朝が来た

手に絵の具を付けて描いた背景は、右側から太陽が昇ってきたように見せるため、色の変化をつけています。そこに授業で育てたヘチマを描いて、切り抜いた7人の小人や虫たちをのせました。



佐藤 大地^{だいち}さん(4年)

食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No. 153

カボチャだんご (手作り簡単おやつ)



■一口メモ■

カボチャの果肉を混ぜた、色鮮やかなおだんごです。カボチャは冷凍のものを使用してもかまいませんが、その場合は電子レンジで解凍してからつぶしましょう。

【材料】3人分

カボチャ 60g^㉔・白玉粉 60g^㉔・スキムミルク 大さじ1
・きな粉 大さじ1強・砂糖 小さじ2

【作り方】

- ① 皮をむいて適当な大きさに切ったカボチャを軟らかくゆで、熱いうちによくつぶします。
- ② ボウルに白玉粉と①のカボチャ、スキムミルクを入れてよく練り混ぜ、耳たぶくらいの硬さにします。
- ③ ②の生地を一口大に丸め、中央をくぼませます。
- ④ 鍋にたっぷりの熱湯を用意し、③を落とし入れ、浮いてきたら冷水にとり、水気を切ります。
- ⑤ お皿に盛りつけ、きな粉と砂糖を混ぜてかけます。

【一人当たりの栄養量】 エネルギー 120kcal^㉔、タンパク質 3.5g^㉔、脂質 1.0g^㉔、炭水化物 24.1g^㉔、カルシウム 34mg^㉔、鉄分 0.6mg^㉔、食物繊維 1.3g^㉔